

知っておきたい胃腸のお話

①胃内視鏡検査の「正常」とは？

青山内科クリニック／胃大腸IBDセンター

青山伸郎

一九八二年に胃の中に細菌が棲んでいる事を見いだしたウオーレン、マーシャル両博士が二〇〇五年ノーベル医学生理学賞を受賞した。その細菌、すなわちヘリコバクター・ピロリ（以下ピロリ菌）は、当初、潰瘍との関連が注目された。というのも再発を繰り返す潰瘍がピロリ菌を治療（以下除菌）すると薬を服用しないでも再発がピシヤツとなくなったからだ。

しかし、ピロリ菌を持っている人全てが潰瘍になるわけではなく一部に過ぎない。色々研究された結果、ピロリ菌は胃炎を起こし、胃炎で脆弱化した胃粘膜が潰瘍発生の最大の原因であるという事がわかった。胃炎はピロリ菌に感染すると必ず起こり、ピロリ菌は三歳以下で感染し一生持続するので、胃炎も持続しピロリ菌は「慢性」胃炎の原因という事になる。潰瘍との関連に続いてピロリ菌による慢性胃炎は胃癌の最大の原因である事が日本の研究が中心となり証明され、ノーベル賞受賞に貢献した。ピロリ菌を除菌すると胃癌にかかる確率が（潰瘍の様にほぼ零というわけにはいかないが）減少し、生まれつきピロリ菌に感染していない方には胃癌は極めて稀である。逆にピロリ菌に感染していない方は感染し

ている方に比べて胃酸は強く逆流性食道炎などに罹りやすくなる。

みなさんが上部内視鏡検査をお受けになられて「少しただれているだけ」「明らかに異常がない」場合によっては「正常」と説明を受けた中に、ピロリ菌に感染している方が含まれている場合があることに注意する必要がある。潰瘍や胃癌などの器質的病変が認められなければ「幅広い正常」ではなく、慢性胃炎はピロリ菌を原因とする潰瘍や胃癌の元になる「病気」であることから、ピロリ菌を持っているのかどうか知っておくことが重要であり、その多くは内視鏡観察で判定できる。

青山内科クリニック 胃大腸内視鏡／IBDセンター

「患者様本位」を信条に内視鏡・炎症性腸疾患・ピロリ菌を中心とした専門領域の最新医療をきめ細かく提供しています。

〒650-0015 神戸市中央区多聞通3-3-9神戸楠公前ビル5F
TEL : 078-366-6810 FAX: 078-366-6811
HP URL <http://www.aoyama-clinic.com>
e-mail info@aoyama-clinic.com
木、第2・4土曜日、第1・3・5火曜日午後休診
JR神戸駅徒歩3分
阪急・阪神・山陽線高速神戸駅東口すぐ



院長 青山伸郎

電話、ファックス、メールで予約をお受けしています。詳しくはホームページをご覧ください。

【院長略歴】
神戸大学医学部准教授・光学医療診療部（内視鏡部）部長を経て2007年4月青山内科クリニック（胃大腸内視鏡IBDセンター）を開設。西宮市立中央病院医務顧問（内視鏡センター担当）、南大阪病院内視鏡センター顧問。